

SHIN CLUB 111

(株)ユニホー辰カンパニー 東京都渋谷区渋谷3-8-10 JS渋谷ビル5F tel/03-3486-1570 fax/03-3486-1450



N COURT 動坂 撮影：アック東京

今月のトーク/monthly talk

異国の地で

今月ご紹介する、「N COURT 動坂」の設計者真栄史郎氏に、建築家カルロ・スカルパについての話を聞かせていただきました。(イタリア・ヴェネチア生まれ/1906年～1978年)「N COURT 動坂」の中庭の施工にあたり、真栄氏は、彼の作品のタイルのデザインに喚起されたそうです。

スカルパは、作品の多くが改修工事や展覧会の構成だったにもかかわらず、素材にこだわる、繊細なディテール表現や創造的な手法が、多くのファンに愛されている建築家です。日本文化に影響を受けたといわれており、1978年、講演旅行中の仙台で不慮の事故で亡くなりました。現在は、自身の設計した「プリオン家の墓地」(イタリア・ヴェネト地方)の片隅に眠っています。

墓地といえば、先日久しぶりに横浜山手外国人墓地を訪れました。高校の恩師が、日本で初めて翻訳された「新約聖書」の覆刻本を上梓したので、卒業生のための記念授業と、作者であるアメリカ人宣教師ネイサン・ブラウン縁の地を訪ねるツアーに参加したのです。横浜にバプテスト派の牧師として赴任したネイサン・ブラウンが、1880年(明治13年)4月に出版した『志無也久世無志與(しんやくぜんしよ)』は、所在が確認されているものが数冊しかなく、また新しく活字を日本人の印刷所に作らせ、それまで改行などなかった日本語表記に平仮名分かち書きや句読点を用いた新しい表現を持ち込み、言文一致運動などに影響を与えたものとして、その価値が改めて見直されています。

夫人のシャーロット(捜真女学校創始者)とともに、ネイサン・ブラウンが眠る横浜外国人墓地は、1853年(嘉永6年)開国親書を携

えやってきたペリーが、翌年訪れたときに墜死した若い船員のために、埋葬する墓地を幕府に提供させたことが始まりです。

18,500㎡(5600坪)の墓域に、墓石数は40カ国2500程度を数え、埋葬記録は関東大震災で大半を失ったものの現在4800柱を数えます。墓地内には日本の西洋文化への発展に関わる多くの著名な外国人の墓所もあり、歴史的な観点からも貴重な場所とされています。無縁となっている墓も多く、維持管理を行う財団法人横浜外国人墓地管理委員会は厳しい台所状況のようです。山手門(正門)と元町門の入口付近の掲示板には、区画所有者の登録更新を勧める案内が表示されていました。

公開日は土日祝日のみで見学コースも限られていますが、私たちは全体を廻ることができました。宗教が異なる墓碑の形は様々ですが、国ごとにまとまっているので、日本と世界各国の人々との交流の歴史を垣間みることができます。最初に横浜居留地覚書を結んだ、アメリカ・イギリス・フランス・オランダの墓域が山手門近くの見晴らしのよい位置を占め、少し下った八端十字架の一群が見るのがロシア人たちの眠る場所。そして現在、無縁墓碑が整理されてできたスペースを占めているのは、中国名の新しく大きなモダンなデザインの墓碑たち。また国は違っても、墓碑は個人のもの。そこに刻まれた言葉に、日本を終焉の場として選んだ人々の姿を思い描くことができます。

開港150周年記念イベントでわく横浜港ですが、ちょっと足を伸ばして、異国で亡くなった人々の思いに触れてみませんか。

N COURT 動坂



明るい中庭と回遊性を持つ賃貸併用住宅

田端駅から徒歩8分。ここは大規模な区画整理が行われ、周辺でマンションへの建替えが進む地域である。オーナーの「特徴のある建物を建ててほしい」という希望を尊重し、外観はコンクリート打ち放しのシンプルなファサードでありながら、建物のプランの中央に中庭を設け、セミパブリックスペースとして、デザインの中心的な役割を持たせた。

中庭の足元には、当初、“Villa PALAZZETTO”（設計：カルロ・スカルパ）をイメージして、穴あきレンガを利用したかったが、既製の穴あきレンガの色味が意図に合わず、渋めの色の普通のタイルを交互に並べ、間にモルタルを埋めていく手法をとった。ヨーロッパ風と和風の雰囲気をも併せ持つ、タイル職人の丁寧な仕事ぶりが映える箇所である。

中庭中央に植栽を設け、丈夫で耐陰性が強いヘデラ（アイビー）を植えた。中央には落葉樹のカツラを入れる予定である。ほかにも建物外側の1階の植え込みにシャラの木を加えている。もとは造園会社の設計部門としてできた事務所のため、ランドスケープにはこだわりを持っている。

最上階のオーナー邸へは、中庭の外階段かエレベーターを利用する。住戸は、口の字の内側に通路を設けた回遊性のあるプランとし、LDKはポリカーボネートの引戸でフレキシブルに廊下と仕切り、来客時にも視線をさえぎることができるようにした。キッチンも、通常のキッチンと、高齢の母君のためのアイランドキッチンも設けている。現場で天井付きのフードを埋め込み、アルミでキッチンパネルを作成した。また東側廊下にはピアノと小さなギャラリーコーナーを設置した。家族それぞれが個室を持ちながら、お互いの気配が1日中感じられ、大切に思う気持ちが存分に伝わる住宅となったのではないだろうか。

（真栄史郎氏談）



構造：RC造
規模：地上3階
用途：共同住宅
設計：真栄史郎 / GA建築工房
施工担当：寺井
竣工：2009年5月
撮影：アック東京

①中庭を東側から望む。中央階段の折り返しにはコンクリートの突起を設けて、植木などが置ける遊びのスペースとした②オーナー邸デッキ。左手内側にエレベーターホール③オーナー邸リビング。中央にダイニングテーブル、その奥にアイランドキッチン、メインキッチンと続く④中庭側からリビングを見る。手前の白い引戸で廊下と仕切り開放したりする⑤中庭を西側から望む。中庭の外階段の金物は現場溶接だと金物とコンクリートの接合に遊びがなくなり、よりコンクリートのクラックを呼ぶことになるので、ボルトで取り付けることにした⑥賃貸部分204号室。1650ミリ幅のキッチン、ウォシュレットや仕切り用の可動家具、多めの収納など、最近の入居者のニーズに応え、設備は充実している。入居シーズンのピークを過ぎたが、低めに抑えた家賃設定で竣工後1ヶ月を待たず全室入居が決まった

TOPICS/INFORMATION

「6月社内研修会開催」

2009年6月6日 本社

毎月土曜日の午前中に行う、恒例の社内研修会です。今回は、現場管理者の業務に直接係わる、重要な手続きや建築法規の復習と再確認を行いました。みな真剣にメモを取り、また多くの質問も出て、非常に有意義な研修会となりました。



前半は、営業課長富中広隆を講師として「住宅瑕疵担保保険に関する各種手続きと検査の実務」を受講



後半は、管理部長名古屋光行を講師として「現場で役立つ簡単な建築法規」を受講

キーワードはまちづくり

ナノ・アソシエイツ 代表取締役 / 浅 雄一



撮影：アック東京

今月はソーシャル・デザイナーの浅雄一氏に登場いただきます。浅氏は、廃校などの遊休施設や耕作放棄地の再生利用、商店街などの地域活性化、レストランのブランディングなどを通して、地域と都市をつなぎ、まちづくりをいろんな側面から進めるプロジェクトを行っています。その一つ、「東京ローカルレストラン」は、毎月1回、ランチ・ディナーにそれぞれ1県ずつ選び、その地域の食材を用いて腕に自信のあるシェフに特別メニューを披露してもらう特別なレストランです。生産者への取材風景を織り交ぜながら、日本の農業、食の問題を考える機会を提供しています。

—4月のローカルレストランでは、紫萌豆やとらふぐなど広島の食材を使った、山崎龍司シェフのランチメニューを堪能させていただきました。

浅：ナノ・アソシエイツ（以下ナノ）の食を切り口としているプロジェクトです。ナノは、「都市と地域をつなげていく」というコンセプトでさまざまなまちづくりの企画を行っています。

日本にはいろいろな地域資源があるわけですが、どこにでも必ずあって誰にとっても魅力的な資源が「食」＝「郷土料理」です。料理の向こうに食材を作っている人が見えれば、なぜこんなに美味しいのか理由がわかりますし、さらにその地域の魅力を知ることができます。「食育ブーム」などといわれますが、頭ではわかっているけれども、心で理解している人は少ないでしょう。「東京ローカルレストラン」のような仕組みを考えることで、さらなる気づきの場所を提供したいのです。

—ソーシャル・デザイナーという仕事についてはまだまだ一般の方にわかりにくいかもしれません。どのように捉えたらいいでしょうか。

浅：社会をデザインするということです。もちろん、形のある空間や建築のデザインもしますが、「形のないもののデザイン」にむしろこだわっていて、今はそのことの方が大事だという思いですね。「東京ローカルレストラン」もそれだけでビジネスにしているのではなく、その関わりの中でこれまで200人以上の生産者の方の取材をして、その関係で派生するさまざまな仕事で財産になっています。特に、僕はデザイナーなので、地方の政策の中



香川県小豆島オリーブ取材風景

Yuichi
Asa

でせっかくできたプロジェクトがうまく回っていないことを見聞きすることが多く、それを通訳して実践する方法をデザインしています。

茨城県常陸太田市里美地区で古民家2件を利用した田舎暮らしを体験するNPO法人「遊楽の里」（平成19年度地域づくり総理大臣賞受賞）、栃木県那須塩原地区で、保育園、有機農法の農園、レストランを展開するNPO法人「創造の森」の設立に関わり、それらの体験をもとに「旅する授業」として始められた「関東ツーリズム大学」の企画に携わってきた浅さん。まちづくりに携わるきっかけは何だったのでしょうか。

浅：ナノはもともと3人で始めたデザインユニットで、松井裕志が建築設計、近藤ナオがクリエイティブ全般、僕は不動産などの法律が専門ですが、僕がそもそも「まちづくり」の仕事に興味を持ったのは故郷の茨城県南部の町に関係があります。

育った場所は、田んぼのある自然豊かな田舎でしたが、小学生の頃JRの駅ができ、デパートの誘致があると聞いて子供心にすごくワクワクしました。卒業文集にも「まちづくりの会社の社長になる」と書いたほど。

しかし、現実には町はデパート誘致に失敗し、次に大型スーパーがやってきて、夏祭りをやっていた商店街はシャッター通りに変わり、そのスーパーも撤退。新しい店がやってきては撤退の繰り返しでした。

自然豊かな田舎でもなく、都会だと自慢もできない故郷。「いつの日かこの町を何とかしてやりたい」とゲーム「シムシティ」をやりながら思っていましたね。

高校を卒業して田舎コンプレックスを払拭しようと東京に出てきましたが、そこで都市計画を学ぶ近藤ナオに会い、仲間が出来て昔の夢が蘇ってきました。自分のスキルを持とうと21歳の時に再び故郷に戻り、働きながら土地家屋調査士の資格を取り、すぐに独立して麻布に事務所を開き、松井、近藤たちとナノを再結成したのです。3人ともそれぞれの分野での仕事もあり、僕はこの夏、土地家屋調査士法人の設立も目指しています。業界では若い自分ですが、今の時代に合った法改正を提言していきたいですね。

—どうもありがとうございました。

「成功の定義は、お金を得ることではなく
いかにいい人生だったかと思えること、ですよね」

浅 雄一

ソーシャルデザイナー

1977年生まれ、茨城県出身

まちづくりや地域活性化の企画、廃校・空き家・遊休施設・耕作放棄地の再生利用、ストリート・商店街の活性化、保育園やレストランのブランディング、関東ツーリズム大学の設立など、多くの企画・開発・活動に関わる。

2005年に、まちと空間のブランディング会社「株式会社ナノ・アソシエイツ」を設立、代表取締役に就任。

南青山のオフィスの近くで。

<http://www.nano-associates.com/>

メンテ 総

その後、
お住まいはいかがですか

所在地：港区
用途：共同住宅
構造：RC造
規模：地上7階
企画：タカギプランニングオフィス
設計：谷内田章夫 / ワークショップ
竣工：2003年1月



第18回 Torre Vista

竣工当時は、デザイナーズマンションの建設が盛んで、谷内田章夫氏設計の東麻布のこの建物も東京タワーの見えるマンションとして、人気を呼びました。ガルバリウム鋼板による外断熱と、コンクリート打ち放し部分には内断熱が施された建物です。建物の裏側の敷地は斜面になっており、その豊かな植栽を取り込むため、北側に開口部を大きく取っています。引戸によるフレキシブルな仕切りが入居者の暮らし方の変化に対応しています。清掃は管理会社の契約する業者が入っていますが、週に1度は建物の点検に訪れているオーナーのY様の奥様にお話を伺いました。

—竣工から6年経ち、これまでの状況はいかがですか。

Y様：裏の官公庁関係の建物の持ち主が代わってしまって、植栽の手入れが行き届かなくなったため、以前より夏場の虫の発生が多くなりました。こちらの建物の裏側でも虫やねずみなどの発生がないようにご近所に気を使って、水溜りがないようにして、殺虫剤などもまいています。—現在、お部屋は全て入居者の方がいらっしゃるの、撮影できませんでしたが、お住まいの方はどうですか。

Y様：竣工当時から入居者が代わったのは1部屋だけで、皆様ずっとお住まいです。気に入っていらっしゃるようですね。入れ替わった部屋だけ、トイレをウォッシュレットに変更しました。竣工当時は賃貸住宅ではまだあまり入れなくても良かったんですよ。

コンクリート打ち放しの面やガルバリウム鋼板の汚れが気になって、私ができることは自分できれいにしていますね。辰の工事担当のNさんにいろいろと相談して備品を用意してもらっています。外階段の1階踏面の塗装はがれなども修復をお願いしました。一番気になっているのは、東側の外階段の横のガルバリウム鋼板の外壁に取り付けた、(連結送水管)ボックスの下から垂れている赤錆ですね。このボックスは以前、中に水がたまり、錆びたので塗装し直してもらったのですが、今日来てみたら、予想以上に

外壁に赤錆が垂れているので驚きました。

—ボックスの中や周囲はきれいですね。小口から錆びているのかもしれない。

Y様：ガルバリウム鋼板に付いている、白い滓の汚れも気になります。サンドペーパーで擦っているのですが、結構堅いんですよ。

—理由がわかりませんが、担当者に報告しておきます。

Y様：この外階段の外灯は、カバーやアームを「外壁にあわせて銀色に」という指定があったので、下地が見えそうになると、銀色スプレーで塗装し直しています。1階エントランスの内側はもう一つ照明を加えた方が良かったかなと思っています。外からもその方がきれいに見える気がしています。

—建物前部の植え込みのオリーブの木も大きくなりましたね。

Y様：枝が外に張り出すので切ろうかと思いましたが、毎日通勤に通る人がこの木を楽しみにしている、と言って下さったので、建物側に枝を固定して調整するくらいにと思っています。

—通りには緑がちょっとあると、やはりなごみますね。本日はありがとうございました。



①1階建物裏側②東側外階段の連結送水管ボックス。赤錆が垂れている③外階段から南側を臨む。かなりの高さのため、外灯の塗装や外壁掃除は業者が足場を要求する④外壁ガルバリウム鋼板に付いている白い汚れ⑤エントランスと植栽のオリーブ

TOPICS/INFORMATION

「青山TNビル新築工事」 地鎮祭
5月8日
青山学院高等部の正門前に建つ複合ビルです。



構造：S造
規模：地上8階
用途：店舗・事務所・住宅
設計：スタイル カウンシル アーキテクト
完成予定：2009年12月

「エビスフラット新築工事」 上棟式
5月14日
4世帯の共同住宅です。



構造：RC造
規模：地上3階
用途：共同住宅
設計：石川設計工房
完成予定：2009年7月

「Tマンション新築工事」 地鎮祭
5月15日
閑静な住宅街に建つ施主住宅併用の賃貸住宅です。



構造：RC造
規模：地上3階
用途：共同住宅
設計：勝岳史建築設計事務所
完成予定：2009年12月

編集後記

・「Front Line」でご紹介した、ナノ・アソシエイツが企画する「東京ローカルレストラン」の第9回は、6月28日開催です。今回の食材は、ランチが香川、ディナーが高知。シェフは、千駄ヶ谷Trattoria MANGIA PESCE (トラットリア マンジャペッシー) の小澤明広さんです。お申し込みはHPの応募フォームから。 https://secure94.chicappa.jp/~chicappa.jp-local-restaurant/sachi_entry/

(株)ユニホー辰カンパニー通信 Vol.111 発行日 2009年6月10日 編集人：松村典子 発行人：森村和男
東京都渋谷区渋谷3-8-10 TEL:03-3486-1570 FAX:03-3486-1450 E-mail : daihyo@esna.co.jp URL : <http://www.esna.co.jp>